



子どもの感染症 一覧

病名	潜伏期	症状
溶連菌感染症	2～7日	高熱、のどの痛み、腹痛、嘔吐で始まり、鮮紅色の細かい発しんがほぼ全身に現れ、舌にブツブツができて莓のようになります。発しんが出ない時もあります。合併症に腎炎、リウマチ熱があります。
伝染性膿痂しん(とびひ)	1～2日	小さな水泡が1～2日で大きくなり、皮が破れて「つゆ」があちこちについて広がります。
百日咳	1～2週	咳がしだいに強くなり、特に夜間に激しく、コンコンと長く続いた後でヒューと音をたてて息を吸い込んだり、吐いたり、特に乳児では呼吸困難となり入院が必要となることもあります。
マイコプラズマ肺炎	1～3週	高熱、激しい咳、頭痛などがあり、胸のレントゲン写真、血液検査で診断がつきます。
インフルエンザ	1～3日	高熱、頭痛、咳、のどの痛み、四肢の痛みなどがあります。毎年冬に流行します。
突発性発しん	8～14日	乳児がほとんどで、高熱が3日続き、熱が下がると発しんが出て終わります。
冬季乳幼児下痢症	2～3日	冬季、急に嘔吐や水溶性下痢が始まり、脱水がみられることがあります。点滴、入院が必要になることもあります。
手足口病	3～7日	手のひら、足、口の中に小さい水泡ができ、痛みのために食欲がおちることがあります。
ヘルパンギーナ	2～5日	のどちんこの周りに小さい水泡ができ、痛みのために食欲がおちることがあります。高熱が1～3日です。
咽頭結膜熱(プール熱)	5～7日	いきなり目が充血し、高熱が数日続きます。
流行性角結膜炎(はやり目)	4～7日	目が充血し、目やにがひどく出ます。早く眼科にみてもらってください。
急性出血性結膜炎	1～2日	目の充血、痛み、涙などが現れます。激しい症状の割には、7～10日で治り視力低下はありません。
伝染性軟属腫(水いぼ)	1～2ヶ月	最初は1mmくらいの小さな固いふくらみですが、数ヶ月で1cm以上にもなり、真中がへこんでアンパンのような形になり、かゆみを伴うことがあります。
結核	2～3ヶ月	微熱、咳・痰が長期に続きます。また、診断にはツ反、赤沈、胸のレントゲン写真にて行いますが、病巣が広がれば、いろいろな全身症状を伴います。
腸管出血性大腸菌感染症	3～8日	腹痛、血便、下痢を伴い、ベロ毒素による腎不全、神経症状、出血傾向のため重篤となる場合があります。
伝染性紅斑(リンゴ病)	7～24日	軽い発熱と頬部の蝶形紅斑、四肢伸側の紅斑発しん。多くは4～5日で消滅します。学童期に多い。
水痘(水ぼうそう)	2～3週	ポツポツと赤い発しんが体に出て、しだいに水泡になり、3～4日で全身に広がります。先に出たものから順次かさぶたになって、治っていきます。

感染症ってなあに？



おなかの中で、「ばいき～ん」があばれているね。

おなかの中で「ばいきんぐ」に進化しないうちになおそう。



知っておきたい 病気 あれこれ！

感染症は、くしゃみやせきで空気中に飛んだウイルスや細菌を吸い込んだり、その病気にかかっている人と接触することでうつる病気です。

感染しても、症状が出ない潜伏期のうちに人に移す病気もたくさんあります。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

耳たぶのすぐ下あたりが腫れていたりします。片側だけのこともあります。髄膜炎を合併することがあります。

潜伏期は・・・2～3週間です

麻疹(はしか)

熱、咳、クシャミ、鼻水、流涙、目の充血などが2～3日続いてから、口内の頬粘膜にケシ粒大の白い反転がパラパラ見られ、初めて診断がつきます。その後、赤い発しんが出て、さらに高熱が3日間続きます。

脳炎、肺炎、中耳炎を合併することがあります。重症化することもありますので、予防接種をぜひ、受けましょう！

潜伏期は・・・9～12日です

風疹(三日はしか)

赤い発しんがほぼ全身に出て、目が充血したり首のリンパ節が腫れたりします。

潜伏期は・・・2～3週間です

* 妊婦さんが妊娠初期にかかると、先天性風疹症候群と呼ばれる児が生まれることがあります。妊娠前の予防接種が大切です。

**あれ！？と思ったら、あなどらず、
専門医に相談しましょう！**

岩手県結核・感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター内)

TEL 019-656-5669 (保健科学部)

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

イラスト協力：日本医師会 Hp キッズクラブ

<http://www.med.or.jp/kids/>

